



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



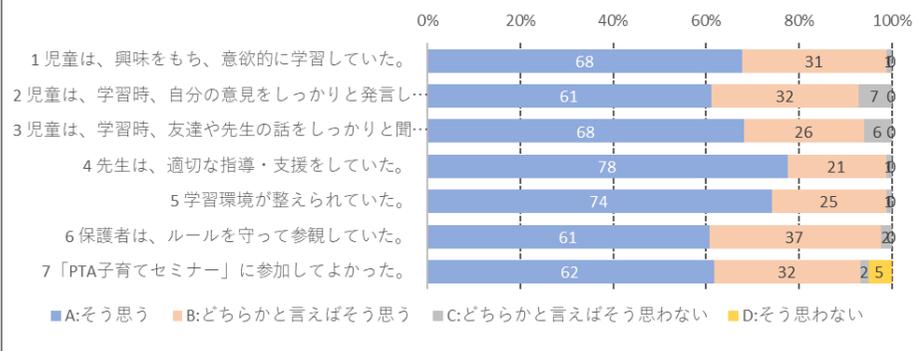
9月14日のオープンスクール、ご参観ありがとうございました。

- Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) -

先週、5年生が楽しみにしていた自然学校が無事終了しました。予定していたプログラムを全て実施することができました。また、このコロナ禍、子供達の健康が一番の心配事でしたが、全員参加、大変嬉しいことでした。一週間、家を離れ、生活すること、なかなかできない貴重な体験を通して、「断崖絶壁」を乗り越え、大きく成長してくれたものと思います。

さて、先日(9月14日)実施しましたオープンスクールについてのアンケートにご協力を賜り、誠にありがとうございました。結果について下記の通りお知らせいたします。

全学年040914 オープンスクール (数値：%)



全ての項目において、肯定的評価 (A+B 評価) が90%を超えており、

概ね「良好」と考えられます。本当に嬉しくありがたいことだと思っております。そのような中で、ただ、項目3の「聞く」については、前回より、-3%となっております。保護者の皆様が授業をご覧になって、子供達の「聞く」様子に課題が見られたものと思われます。確かに「聞く」ということは、大変難しいことだと思います。私の経験でも、話を聞くことに課題がある子供が学級にいました。特徴的なのは、話の途中で話しかけたり、質問をしたりすることがあります。確かに反応がよいといえば、ある意味そうなのかもしれませんが、なかなかおとなしく黙っていることができないのです。そこで、大切にしていたことは、誰かが話をしている時には、①話の途中で尋ねたり、質問したりしないこと。でも、どうしても聞きたいことや言いたいことがある場合もあります。その時は声を出さず、黙って、②静かに手を挙げることでした。このことができるようになれば、自分の不用意な発言や声で、友達や先生の話をおさることは少なくなります。しかし、「言うは易し、行ふは難し」です。正に、「聞く」子供を作ることは時間が掛かり、難しいことでもありました。「聞く」ことは、児童本人の学習に大きく影響します。さらに自分の学習のレベルを高めるだけでなく、一緒に学ぶ仲間にもよい効果や影響を与えます。「聞く」ことを意識し、しっかりと実行できる子供達の育成を今後も引き続き目指したいと思います。

前回、「習慣を変えれば行動が変わり、行動が変われば態度が変わる。態度が変われば心が変わる。そして、人生が変わっていく。」という言葉を紹介させていただきました。「聞く」ということも、日々の学習の中で身に付けたい一つの習慣として位置付けたいと考えます。2学期の教育活動も留まることなく進んでいきます。今後もコロナ禍における様々な対応について、保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携を深め、児童にとって、「明日も行きたい! 学びたい! 学校」を目指し、日々の取り組みを充実させ、共に歩んでいきたいと願っております。